

23文科開第208号  
平成23年6月24日

大学共同利用機関法人  
情報・システム研究機構  
国立極地研究所長  
藤井理行 殿

文部科学省研究開発局長  
藤木完治



大学発グリーンイノベーション創出事業  
「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス」(GRENE) 事業  
北極気候変動分野の審査結果について (通知)

このたび、大学発グリーンイノベーション創出事業「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス」(GRENE) 事業 北極気候変動分野の公募については、提案された下記の研究開発計画を採択しますので通知します。研究開発計画の実施に当たっては、採択条件に留意して下さい。

また、採択計画の概要等については文部科学省のホームページに公開します。

なお、補助金交付に係る手続きにおける調整で不備等が明らかになった場合、採択結果を取り消すことがあるので、留意してください。補助金交付に係る書類は代表機関がとりまとめのうえ提出してください。補助金交付にかかわる手続に関しては、別途連絡します。

記

事業計画名	急変する北極気候システム及びその全球的な影響の総合的解明
実施責任者名 [プロジェクトマネージャ]	山内 恭 国立極地研究所副所長
採択理由	北極研究戦略小委員会が示した運用方針に沿った研究計画となっており、実施機関以外の研究機関の研究者と共同研究を行うための体制の整備、観測船や観測機器等の研究設備の提供、及び「北極環境研究コンソーシアム(仮称)」の運営支援を適切に実施できると判断するため、採択とした。

採 択 条 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北極研究運営会議において、共同研究の公募方針や選定基準を明確にし、4つの達成目標が達成できるよう、共同研究課題の調整と推進を行うこと</li> <li>・観測とモデルの有機的な統合研究を推進すること</li> <li>・砕氷船の備船、雲レーダーの整備等の基盤整備の計画について、具体的な研究内容を北極研究運営会議で決定したうえで、当該研究に必要な整備を措置するようにすること</li> <li>・北極域データのアーカイブについて、DIAZ等の既にあるデータベースとの重複を避けるとともに、目的を明確化し、本プロジェクトの実施に真に資するものとする</li> <li>・1人当たりに係る金額が高額な契約職員等の雇用計画、及び係留系設置等に係る費用などについて、積算を見直すこと</li> <li>・研究開始後についても、研究の進捗状況や北極研究戦略小委員会の意見を踏まえるなど、柔軟に計画を見直すこと</li> </ul>
---------	--

連絡先：

文部科学省研究開発局

海洋地球課極域研究振興係

担当：村瀬、丸田

TEL: 03-6734-4144、FAX: 03-6734-4147

e-mail: m-murase@mext.go.jp, maruta@mext.go.jp



平成23年6月24日

## 大学発グリーンイノベーション創出事業 「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス」(GRENE) 事業 北極気候変動分野の審査結果について

文部科学省では大学発グリーンイノベーション創出事業「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス」(GRENE) 事業 北極気候変動分野の公募を行い、所用の審査を経て採択課題を決定いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 事業概要

北極は、地球温暖化による平均気温の上昇が最も大きく、地球上において気候変動による影響が最も顕著に表れると予測される地域の1つです。また北極における変化は、大気・海洋循環の変化や雪氷圏変化などを通して、全球的な気候システムにも大きな影響をもたらす可能性があることから、気候変動のメカニズム解明のため、北極における継続的な地球観測を実施することは非常に重要です。

他方、我が国への影響という観点からは、特に最近の北極振動の振舞いに伴う異常気象の発生などによりその重要性が改めて認識されるとともに、海氷減少に伴う北極航路の活用など経済活動の面からの関心も高まっています。また北半球に位置し、しかも気候・環境的にも北極域・高緯度の影響を強く受けている日本としてはより組織的な北極圏研究が必要です。

本事業は、上記のような我が国にとって重要な研究課題の解明に、分野横断的かつ総合的に取り組むことを目的とします。

<担当> 文部科学省研究開発局海洋地球課  
極域研究振興係 村瀬 誠、丸田俊徳 (内線 4144)  
電話 : 03-5253-4111 (代表)  
03-6734-4144 (直通)

## 2. 課題選定結果について

上記の事業について公募を行ったところ、1件の提案があり、その提案について、あらかじめ公表した審査基準に基づき、外部専門家により構成される「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス」(GRENE)事業 北極気候変動分野 外部評価委員会(3. 参照)において審査し、以下の研究開発計画を採択課題として選定しました。

事業計画名	急変する北極気候システム及びその全球的な影響の総合的解明
代表機関 (参画機関)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所 (独立行政法人 海洋研究開発機構)
実施責任名 [プロジェクトマネージャ]	山内 恭 国立極地研究所副所長
実施予定期間	5年
概要	急変する北極気候システムの変動状況を、海洋・大気・陸域・雪氷・生態系の分野にわたり総合的に把握し、その結果を気候変動予測モデルに反映させて予測モデルの高度化・精緻化を図り、北極気候システムの変化が我が国や全球にもたらす影響を評価することを目的とした共同研究を実施する。また、北極環境研究の効果的・効率的実施に必要な研究基盤の整備・提供を図る。併せて、我が国の北極環境研究の総合力を高めるため北極環境研究者がAll Japanで結集するネットワーク組織「北極環境研究コンソーシアム」の事務局の運營業務を行う。
採択理由・コメント	北極研究戦略小委員会が示した運用方針に沿った研究計画となっており、実施機関以外の研究機関の研究者と共同研究を行うための体制の整備、観測船や観測機器等の研究設備の提供、及び「北極環境研究コンソーシアム(仮称)」の運営支援を適切に実施できると判断するため、採択とした。 今後、4つの達成目標について、実施機関に設置される北極研究運営会議において、共同研究の公募方針や選定基準を明確にすることが必要である。また、事業の実施にあたっては、観測とデータ解析、モデリングなど研究手法に関しても分野横断型の統合研究を推進し、社会に還元できる成果をあげるよう努めること。

### [公募・審査の経緯]

- ・ 公募実施機関 平成23年5月19日～6月9日
- ・ ヒアリング審査 平成23年6月13日

[提案件数] 1件

### 3. 「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス」(GRENE) 事業 北極気候変動分野 外部評価委員会委員名簿

安成	哲三	名古屋大学	地球水循環研究センター教授 (主査)
浮田	甚郎	新潟大学理学部	自然環境科学科 物質循環科学 教授
寺島	紘士	海洋政策研究財団	常務理事
中尾	正義	大学共同利用機関法人	人間文化研究機構理事
野沢	徹	独立行政法人	国立環境研究所 地球環境研究センター 気候モデリング解析研究室室長